

令和5年(2023年)2月5日(日曜日)



カワニナを採取する参加者＝三島市の源兵衛川

ホタルいっぱい育て

三島市のNPO法人グラウンドワーク(GW)三島は4日、市内を流れる源兵衛川の下流部でホタルの餌になるカワニナを採取し、夏になるとホタルが飛び交う中流部に放流した。

GW三島によると、幼虫のホタルは餌のカワニナを食べて成長し、3月ごろに川から土手が上がって4月下旬から飛び始める。参加者は富士山南東消防本部西側の源兵衛川で3万個のカワニナを集め、例年ホタル餌のカワニナを採取源兵衛川中流に放流

GW三島

が多く見られる三島メディカルセンター1周辺の源兵衛川に放った。GW三島はこのほかにも外来植物の除去など水辺環境の整備に取り組む、ホタルの保全活動が続いている。生息調査(4月下旬～6月)では、12年前の1200匹から昨年は3200匹まで観測数が増えたという。

(三島支局・金野真仁)